

第38回 全日本トライアスロン皆生大会

観衆	鳥取県	共
米子市	鳥取県	共
	境南	
	伯大	
	日山	
	山陰	
	皆生	
	温	



男子優勝は、5年ぶり3回目の栄冠を手にした吉村優介選手（山口県）、女子は過去3回優勝のベテラン細川江梨子選手（愛媛県）が連覇

「第38回全日本トライアスロン皆生大会」は、7月15日(日)、皆生温泉を起点に鳥取県西部6市町村を会場に開かれました。梅雨が明け、朝から真夏の太陽が照りつける中、個人の部に900人、リレーに57組が出場。スイム3キロメートル、バイク14.0キロメートル、マラソン42.195キロメートルの過酷なコースで体力の限界に挑みました。

男子総合の部では、得意のバイクで圧倒的な強さを発揮した吉村優介選手(31) 山口県Ⅱが、ランに入ってもペースを落とすことなくそのままフィニッシュ。5年ぶり3回目の優勝に輝きました。2位には昨年の覇者・藤原拓選手(32) 埼玉県Ⅱ、3位には昨年も3位だった尾形直樹選手(35) 栃木県Ⅱがそれぞれ入りました。

一方の女子は過去3回優勝のベテラン細川江梨子選手(39) 愛媛県Ⅱが昨年に続き貫録のV4を達成。2位にはバイクで落車負傷しながらランで細川選手に4分差まで迫った安曇樹香選手(29) 埼玉県Ⅱが入りました。

約4000人のボランティアが裏方として選手の力走を支え、大きな事故やトラブルもなく大会を成功裏に終えることができました。大会に参加された選手の皆さん、そして大会を支えてくださいましたボランティア、地域の皆さん、本当にありがとうございます。来年も皆生の地で会いましょう！



7月15日(日)に、米子の夏の大会のイベントの一つ「第38回全日本トライアスロン皆生大会」が盛大に開催されました。

一層強化された安全対策のもと、大きな事故やけが等もなく、多くの選手たちに圏域の魅力を味わっていただくことができました。これもひとえに市民の皆さんをはじめ、ボランティアの皆さん、周辺市町村並びに関係各位の多大なるご支援、ご協力のたまものと心から感謝申し上げます。

今後とも、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

米子市長 伊木隆司